令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

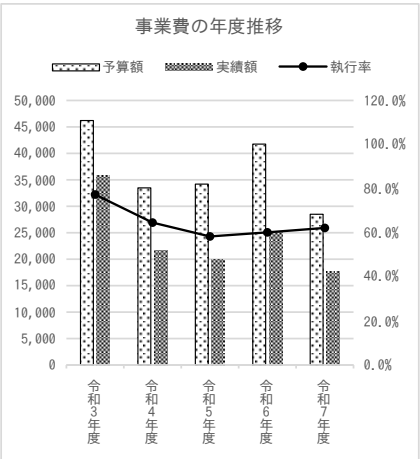
施策	04　地域の魅力あふれる多心型まちづくり		
分野	02　多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち		
施策担当課	市街地整備課	関係課	

施策目標

○荻窪駅周辺において、歴史・文化等の潜在能力を十分生かし、にぎわいと住環境が調和したまちづくりが進んでいます。
○各地域の特色や魅力を生かしたまちづくりが進み、誰にとっても居心地がよく、にぎわいがあふれ、出かけたくなるまちになっています。
○区民等による主体的なまちづくり活動が活発に行われることにより、住宅都市としての魅力や価値が更に高まっています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	駅周辺まちづくりに関するワークショップ・意見交換会等の開催数	「ワークショップ・意見交換会等」には懇談会・オープンハウスも含む	回	計画				13	
				実績			20	－	
				達成率	－	－	－	－	
	地区計画等届出件数	地区計画・沿道地区計画の法に基づき区に届出された件数	件	計画	140	136	130	120	
				実績	112	124	128	－	
				達成率	80.0%	91.2%	98.5%	－	
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
成果指標	普段利用する駅周辺の満足度	区民意向調査による	%	計画	73.6	74	74.3	74.6	令和12年度
				実績	72.3	70.3	74.4	－	76%
				達成率	98.2%	95.0%	100.1%	－	
	分類　利用者満足度指標								
	自宅周辺のまちづくりに満足する区民の割合	区民意向調査による	%	計画	79.8	80	80.3	80.6	令和12年度
				実績	78.1	82.1	82.2	－	82%
				達成率	97.9%	102.6%	102.4%	－	
	分類　利用者満足度指標								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	46,208	33,479	34,191	41,753	28,493	45,768
			実績額	35,736	21,629	19,939	25,125	17,717	－
			執行率	77.3%	64.6%	58.3%	60.2%	62.2%	－
	人件費	千円	予算額	101,300	105,709	104,734	75,569	99,370	102,012
			実績額	103,622	115,630	107,797	100,459	106,017	－
			執行率	102.3%	109.4%	102.9%	132.9%	106.7%	－
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	147,508	139,188	138,925	117,322	127,863	147,780
			実績額	139,358	137,259	127,736	125,584	123,734	－
			執行率	94.5%	98.6%	91.9%	107.0%	96.8%	－
	国・都からの補助金等	千円	予算額	0	0	1,000	2,600	0	0
			実績額	0	1,500	600	2,100	0	－
			執行率	－	－	60.0%	80.8%	－	－
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		-5.6%	-0.2%	-15.6%	9.0%	15.6%
			実績額		-1.5%	-6.9%	-1.7%	-1.5%	－
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	68.7%	75.9%	75.4%	64.4%	77.7%	69.0%
			実績額	74.4%	84.2%	84.4%	80.0%	85.7%	－



特記事項

評価対象年度の事業費（実績）が前年度の67.5%となった主な理由は、前年度に実施した、蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画道路の用地取得、荻外荘公園の開園を契機とする路面案内ステッカー設置工事等やまち歩きイベントについて、評価対象年度には実施しなかったことです。
執行率が59.5%となった主な理由は、区が実施を予定していた阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり検討支援業務委託について、協議会が国の補助金を活用して実施したことや、「あさがやまちづくりセッション」について、実施回数や開催形式の見直しにより業務委託費が縮減されたこと等です。

施策の成果	地域と区との協働により、各地域の実情に応じたまちづくりを進めました。 荻窪駅周辺では、荻窪三庭園をはじめとした歴史的・文化的資源等を生かした魅力あるまちづくりを推進するため、観光案内板を2基、路面案内ステッカーを10か所（計34枚）整備し、回遊性及び利便性の向上を図りました。また、駅周辺の都市機能の充実を目指し、「荻窪駅周辺サイン整備計画【第2期】」の策定及び人流調査を実施しました。また、荻窪駅周辺地域の方々を対象に「荻窪まちづくりだより」を全戸配布して取組を周知し、地域住民の理解促進と機運醸成を図りました。 各地域の特色や魅力を生かしたまちづくりを推進するため、地区計画の届出制度の適切な運用を図るとともに、駅周辺まちづくりに取り組みました。地区計画等届出件数は、計画130件に対し実績128件となり、良好な住環境の形成に向けた誘導を着実に図りました。阿佐ヶ谷駅等周辺では、「あさがやまちづくりセッション」を7回開催するとともに、各種アンケートや情報発信等を通じて、まちづくりに対する課題の整理や方向性の具体化等を進めました。阿佐ヶ谷駅北東地区では、地域主体の「阿佐谷北東エリアまちづくり協議会」において、エリア内外を問わず幅広い意見を踏まえて検討を重ね、阿佐谷北東エリアの将来像やまちづくりの方向性等を示す指針として、令和8年3月に「未来ビジョン」を策定しました。 区民等による主体的なまちづくり活動を推進するため、まちづくり団体等活動助成を6件、まちづくりコンサルタント派遣を1回実施しました。令和7年度まちづくり助成交付団体に加え、既登録のまちづくり団体も参加する交流会を実施し、各団体による活動紹介や情報交換を通じて、団体間の交流促進を図りました。

課題の分析	区民のまちに対する満足度は、様々な要素により総合的に決まるものであり、都市基盤の整備や地域交通環境の改善、良好な住環境の形成といった関連施策との連携を一層強化し、分野横断的に取り組む必要があります。 荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点として多様な都市機能が集積する中心的な拠点ですが、駅前広場機能の不足や駅南北の分断、回遊性の低さにより都市拠点としての機能が十分に発揮されていないことが課題です。 地域と区との協働による「阿佐谷北東エリアまちづくり協議会」の活動については、より広い地域住民の参画促進や自立・自走に向けた運営体制の確立等が課題です。富士見ヶ丘駅周辺では、にぎわい創出や安全な通行環境の整備に対する地域の意向を踏まえ、関係所管と連携してまちづくりの方向性の検討を深める必要があります。浜田山駅については、南口開設に向けた調査・研究を進めるとともに、住民への継続的かつ丁寧な情報提供を行う必要があります。まちなか木製ベンチ等設置補助金交付事業は、新規設置数が減少傾向にあることが課題であり、関係所管と連携して事業の周知・啓発を進め、ウォーカブルなまちづくりを推進する必要があります。 下高井戸駅周辺及び方南一丁目地区では、地区計画の策定を視野に住民主体でまちづくりの検討が進められていますが、制度の理解の難しさや土地条件の違いを背景に、合意形成に時間を要することが課題です。 住民主体のまちづくり活動の支援については、現行の助成制度の整理に加え、地域課題を主体的かつ持続的に解決できる団体の育成に向け、支援制度の在り方の見直しを検討する必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	現状維持
	今後の進め方	荻窪駅周辺の回遊性・利便性の向上に向け、観光案内板や路面ステッカーの適切な維持管理を行うとともに、荻窪三庭園をはじめとする歴史的・文化的資源を生かし、グリーンスローモビリティとの連携も含めた回遊促進施策の充実など、地域資源を活用した新たな活用方策を検討し、まちの魅力向上に取り組みます。 阿佐ヶ谷駅等周辺では、阿佐谷北東エリアで策定された「未来ビジョン」に基づく取組を促進するとともに、「あさがやまちづくりセッション」における対話を、技術的に実現可能な具体的な事業や取組に繋げる検討を行ってまいります。富士見ヶ丘駅周辺では、安全な通行環境の整備とにぎわいの創出を両立するまちづくりを進めるため、地域意向を踏まえながら関係所管との連携を図り、地域課題への対応や取組の検討を進めます。浜田山駅では、南口改札の整備に向けた調査・研究を継続し、実現に向けた方策の検討を進めます。また、検討プロセスの透明化と地域理解の醸成を図りながら、駅周辺の利便性向上に向けたまちづくりを推進します。 下高井戸駅周辺地区では、住民主体によるまちづくりの検討を支援し、その動向を注視するとともに、まちづくりの方向性が具体化された場合に備え、地区計画等のまちづくりルールの検討及び準備を進めます。方南一丁目地区では、防災まちづくり計画に基づき、地区計画等のまちづくりルールの導入及び地区の主要な道路の拡幅に向けた検討を引き続き進めます。 まちづくり活動の支援では、地域の課題を主体的かつ持続的に解決できるような団体の育成に向けて支援制度の見直しを行っていきます。また、区のSNSやホームページで団体の活動を広く区民へ周知を行い支援制度の利用促進を図り、まちづくり活動が活発に行われるよう支援していきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　04　】【施策名称　地域の魅力あふれる多心型まちづくり　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	349	地区整備計画	○		2,726	34,589	37,315	推進（拡充）
2	352	まちづくり活動の支援	○		755	5,123	5,878	現状維持
3	355	都市再生事業	○	○	6,638	29,103	35,741	推進（拡充）
4	356	駅周辺まちづくりの推進	○	○	7,598	37,202	44,800	現状維持
5		以下再掲事業の評価表						
6	357	都市計画道路周辺まちづくり						
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					17,717	106,017	123,734	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	まちづくり活動の支援：事務事業評価においては、令和8年度の助成制度の利用実績が低調であり、令和9年度はその実績に応じた事業規模とすることから「縮小」としました。一方で、地域の課題を主体的かつ持続的に解決できるような団体の育成に向けた支援制度の見直しを行っていくため、中長期的な方向性は「現状維持」とします。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

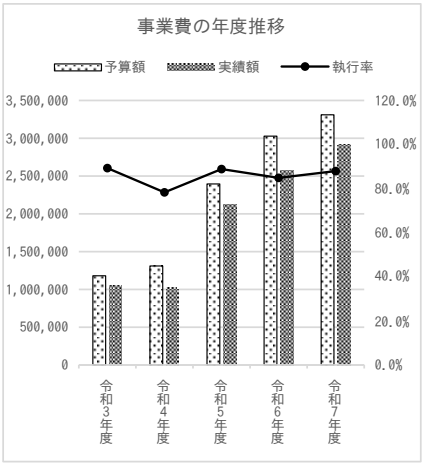
施策	05　人々の暮らしを支える都市基盤の整備		
分野	02　多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち		
施策担当課	都市整備部管理課	関係課	市街地整備課、土木計画課、土木管理課、土木事務所

施策目標

○鉄道の連続立体交差化や各地域の実情や特性を踏まえた駅周辺道路・広場の整備が行われることにより、踏切による交通渋滞・事故や地域分断の解消、及び円滑な交通ネットワークの形成が進んでいます。
○都市計画道路や生活道路の整備が着実に進むことによって、まちの防災性や安全性が高まり、移動しやすいまちになっています。
○都市基盤整備の基礎となる区内の土地や建物などの情報が着実に整備され、都市基盤の整備や大規模災害への備えが進んでいます。
○地域の特性や多様な地域住民の意見を踏まえ、区民相互及び区民と区の対話に基づくまちづくりが進んでいます。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	安全対策路線の整備延長	すぎなみの道づくり【身近な道の整備方針】に基づく年度ごとの交通安全対策路線の整備延長	km	計画	1.7	2.5	1.5	2.6	
				実績	2.3	2.5	1.5	-	
				達成率	135.3%	100.0%	100.0%	-	
	補助132号線の用地取得率（面積）	事業用地買収面積（累計・実績）÷事業用地面積（計画）	%	計画	33	42	42	47	
				実績	23.5	28.5	32.4	-	
				達成率	71.2%	67.9%	77.1%	-	
	補助221号線の用地取得率（面積）	事業用地買収面積（累計・実績）÷事業用地面積（計画）	%	計画	4.5	12	22	23	
				実績	4.1	5.1	13.5	-	
				達成率	91.1%	42.5%	61.4%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	身近な道路が安全で快適だと思う区民の割合	区民意向調査による	%	計画	78	77	77	77	令和12年度
				実績	78	78.7	79	-	80%
				達成率	100.0%	102.2%	102.6%	-	
	分類　区民満足度指標								
	都市計画道路（区道）完成延長	区内の都市計画道路のうち整備が完成した区道延長	m	計画	7,022	7,022	7,022	7,022	令和12年度
				実績	7,022	7,022	7,022	-	8,178m
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	分類　行政サービス成果指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	1,180,610	1,310,338	2,395,512	3,028,029	3,310,268	3,021,564
			実績額	1,054,506	1,026,198	2,129,079	2,570,594	2,911,874	-
			執行率	89.3%	78.3%	88.9%	84.9%	88.0%	-
	人件費	千円	予算額	160,306	205,322	195,639	184,126	260,762	258,726
			実績額	195,338	212,260	205,139	267,576	268,496	-
			執行率	121.9%	103.4%	104.9%	145.3%	103.0%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	1,340,916	1,515,660	2,591,151	3,212,155	3,571,030	3,280,290
			実績額	1,249,844	1,238,458	2,334,218	2,838,170	3,180,370	-
			執行率	93.2%	81.7%	90.1%	88.4%	89.1%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	1,000	3,500	165,750	287,950	4,972	90,874
			実績額	1,000	2,850	160,401	286,331	212,154	-
			執行率	100.0%	81.4%	96.8%	99.4%	4267.0%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		13.0%	71.0%	24.0%	11.2%	-8.1%
			実績額		-0.9%	88.5%	21.6%	12.1%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	12.0%	13.5%	7.6%	5.7%	7.3%	7.9%
			実績額	15.6%	17.1%	8.8%	9.4%	8.4%	-



特記事項

道路の路面改良事業における工事落札差金、令和8年度予算への繰越が多く発生したことや、京王線及び西武新宿線の連続立体交差事業において用地取得が難航し、建設事業負担金が不用となったこと、上井草駅北口駅前広場整備事業等において事業進捗により、物件調査や用地折衝に関連した委託費用の一部が不用となったことなどから、令和7年度の予算額と実績額に大幅な差が生じた。
活動指標「安全対策路線の整備延長」について、「すぎなみの道づくり【身近な道の整備方針】」を令和8年度に改定したことに伴い、令和8年度計画値を新たに設定するとともに、指標説明の内容を更新した。

施策の成果	西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業等のうち、区が事業主体となる上井草駅北口駅前広場整備事業等では、物件調査及び用地折衝に着手し、物件調査を3件実施しました。また、関連事業の理解を得るため「まちづくり広場」を開催した際は、200名を超える来場があり、多くの地域住民に事業の周知を行うことができました。京王線沿線の下高井戸駅周辺地区まちづくりにおいては、世田谷区と連携し「街づくり懇談会」を開催したほか、下高井戸駅北口杉並街区の地権者を中心とする「まちづくり準備会」は計13回開催され、活発な検討が行われる中、区はその活動の支援を行いました。 令和7年度末の都市計画道路事業用地の取得率は面積ベースで、西荻窪の補助第132号線が32.4%、高円寺の補助第221号線が13.5%となり、着実に事業用地の取得が進んでいます。また、東京都・特別区・26市2町が共同で策定・公表した都市計画道路の新たな整備方針（第五次事業化計画）の内容について、区民への周知を図りました。 都市計画道路周辺地域において区民が主体的にまちづくりに取り組む場である（仮称）デザイン会議では、西荻窪地域・高円寺地域で、魅力的な道づくりやまちのルール作り等を検討するテーマ部会が参加者提案により複数発足し、両地域で累計32回の会議を開催するなど、区と区民、区民相互が積極的に意見交換を行いました。また、南阿佐ケ谷地域では、まちづくりの基礎情報の共有や取組内容に関するパネル展示、まちの課題に関するシール投票等を実施し、今後のまちづくりに向け基礎的な取組を行いました。 都市基盤の整備は、区民の生活に大きな影響を及ぼす可能性があることから、各事業の推進に当たっては、「杉並区まちづくり基本方針」で掲げる、区民主体のまちづくりの実現に向けて、区民との対話や情報提供を丁寧に行いました。

課題の分析	西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業及び上井草駅北口駅前広場整備事業等については、東京都と連携し、地権者などの意向把握を丁寧に行い、着実に用地取得を進めていく必要があります。また、連続立体交差事業沿線のまちづくりについては、まちづくり協議会等の活動や（仮称）下井草まちづくりラボ、オープンハウス等の開催を通じて、地域の方々との意見交換や意見聴取を丁寧に行うとともに、まちづくり方針で掲げるまちの将来像の具体化に向けた取組を実施していく必要があります。 区内の都市計画道路完成率は約50%（23区中20番目）と他の区に比べ低い水準にあります。事業着手済みの2路線の用地取得率はいずれも計画を下回っていますが、用地買収には地権者等の生活再建を最優先とした丁寧な折衝が不可欠であるため、計画どおりの買収が難しいという課題があります。この背景には、道路整備の必要性に対する疑問や、立ち退きや道路整備に伴う環境変化による生活への不安があるため、正確な情報共有と、対話を通じた課題共有・合意形成が重要です。 （仮称）デザイン会議では、個別具体の取組は進んでいる一方、まちの将来像に関する議論が深まっていないため、今後は取組の内容をまちの将来像に関する議論へつなげていくことが課題です。さらに、参加者の年代等に偏りがあることから、活動報告会等の機会を活用し、新たな参加者の確保にも取組む必要があります。 都市基盤整備の基礎となる都市基盤情報の整備では、権利関係が複雑な都市部での地籍調査に多くの経費と時間を要することから、国や都の補助金の活用により区の財政負担を軽減しつつ、早期完了を目指して調査を実施していく必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	施策目標で掲げる交通渋滞や地域分断の解消、円滑な交通ネットワークの形成のため、鉄道連続立体交差化に関連する周辺道路や駅前広場の整備を進めます。また、災害に強い都市の骨格を形成し、人や物の円滑な移動を支える都市計画道路については、区民との対話を重ねながら合意形成を図り、事業の推進に努めます。このほか補助227号線の計画がある高円寺駅北口地域では、防災性の向上と、高円寺固有の魅力の維持・向上という課題の解決に向けて、地域の皆様や学識経験者などとともに、デジタルの力を活用し、客観的なデータと多様な意見を共有しながら、まちの将来像を検討する新たな取組を進めます。さらに、区民に身近な生活道路についても、歩行者等の安全な通行を確保するため、計画的に安全対策を実施していきます。 また、公共物である道路の適正な管理や災害時における迅速な復旧・復興を図るため、地籍調査を含む道路台帳の整備を進めるとともに、地籍調査で必要となる復元測量等については、計画的に事業を実行できるよう実施区域面積の配分調整を行い令和14年度の全域完了を目指します。 今後も、区の目指すべきまちの将来像を描いた「杉並区まちづくり基本方針」で掲げる区民主体のまちづくりを実現するため、（仮称）デザイン会議など地域住民に対する十分な情報提供や丁寧な説明、住民との活発な対話を行いながら個別の事業を推進し、杉並区の地域性を重視した住みよい住宅都市としての価値を高めていきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　05　】【施策名称　人々の暮らしを支える都市基盤の整備　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	341	まちづくり施策の総合的な推進	○	○	991	24,931	25,922	推進（拡充）
2	343	都市計画道路公園緑地の案内調整			34	14,062	14,096	現状維持
3	346	鉄道連続立体交差化の推進	○	○	367,500	57,405	424,905	推進（拡充）
4	357	都市計画道路周辺まちづくり	○	○	25,275	55,536	80,811	現状維持
5	389	私道整備助成	○		181,436	14,262	195,698	その他
6	392	道路の路面改良	○		1,428,778	38,003	1,466,781	現状維持
7	394	都市計画道路の整備	○	○	907,860	64,297	972,157	現状維持
8		以下再掲事業の評価表						
9	388	道路台帳の整備						
10	393	魅力ある歩行者優先の道づくり						
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					2,911,874	268,496	3,180,370	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	・都市計画道路公園緑地の案内調整（事務事業：拡充）来年度は、外かく環状道路に関する住民への追加の情報提供に伴い、一時的なコスト増を見込むが、恒常的なものではないため「現状維持」とした。 ・都市計画道路の整備（事務事業：拡充）事業用地の買戻し状況により事業費は年度ごとに変動するものの、長期的に継続して取り組む事業であるため「現状維持」とした。 ・私道整備助成（事務事業：現状維持）助成制度の見直しによる制度改正を予定しており、今後の事業量が未確定であることから「その他」とした。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

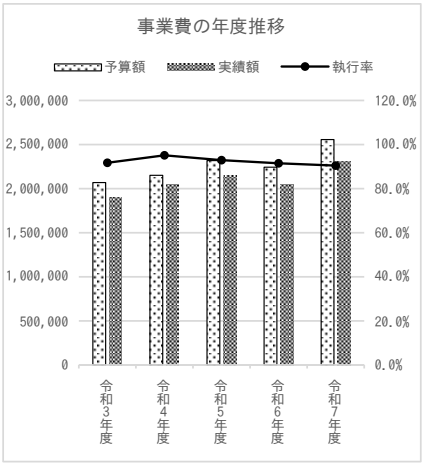
施策	06　誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備		
分野	02　多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち		
施策担当課	都市整備部管理課	関係課	

施策目標

○交通ＤＸ・交通ＧＸの視点を取り入れたＭａａＳなど、新たな移動サービスの活用等により、多様なライフスタイルに対応した安全で利便性の高い交通体系の構築が進んでいます。
○区民に自転車の多面的な価値や魅力が浸透することによって、過度に自動車に依存することなく、近距離を移動する際は積極的に自転車が利用されています。
○自転車を利用する際のルールやマナーが守られることなどにより、区内における自転車が関与する事故の割合は減少しています。
○安全面と環境面に配慮した交通安全施設の整備が進み、誰もが安全に安心して移動できる環境が整備されています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	交通及び自転車関連協議会開催数	杉並区地域公共交通活性化協議会・自転車等駐車対策協議会・エイトライナー促進協議会総会等	回	計画		6	11	12	
				実績	6	8	10	－	
				達成率	－	133.3%	90.9%	－	
	モビリティ・マネジメントに関連する啓発活動回数	公共交通の利用促進に向けた普及啓発活動実施回数　（すぎ丸の日・小学校等での交通環境学習等）	回	計画		4	4	4	
				実績	3	2	3	－	
				達成率	－	50.0%	75.0%	－	
	交通安全啓発活動を実施した回数	交通安全のつどい・街頭キャンペーン等	回	計画		25	70	70	
				実績	48	75	78	－	
				達成率	－	300.0%	111.4%	－	
	自転車安全利用等講習会開催数	自転車安全利用実技講習会・スタントマンによる自転車安全利用講習会・出前型自転車交通安全講習会等	回	計画		55	56	56	
				実績	70	66	62	－	
				達成率	－	120.0%	110.7%	－	
成果指標	交通の便が良いと思う区民の割合	区民意向調査による	%	計画	95.4	94.3	95.1	96	令和12年度
				実績	93	93.5	93.9	－	96.8%
				達成率	97.5%	99.2%	98.7%	－	
	分類　区民満足度指標								
	できるだけ徒歩・自転車・公共交通機関を使って移動している区民の割合	区民意向調査による	%	計画	92.5	93.1	93.1	93.1	令和12年度
				実績	92.5	94.8	93.9	－	93.9%
				達成率	100.0%	101.8%	100.9%	－	
	分類　区民満足度指標								
	区内における交通事故件数	「道路交通法」に規定する道路における車両等による人身事故件数　※1月～12月	件	計画	787	841	789	738	令和12年度
				実績	1,021	1,034	989	－	678件
				達成率	129.7%	122.9%	125.3%	－	
	分類　社会成果（課題）指標								
	区内における自転車関与事故件数	区市町村別各種交通事故発生状況（警視庁）	件	計画	344	387	355	323	令和12年度
				実績	526	508	489	－	297件
				達成率	152.9%	131.3%	137.7%	－	
	分類　社会成果（課題）指標								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								
				計画					
				実績				－	
				達成率	－	－	－	－	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	2,069,022	2,151,262	2,318,102	2,243,220	2,556,713	2,573,762
			実績額	1,897,966	2,046,318	2,154,100	2,052,621	2,312,727	－
			執行率	91.7%	95.1%	92.9%	91.5%	90.5%	－
	人件費	千円	予算額	227,107	237,034	216,655	111,011	248,309	276,799
			実績額	231,799	235,561	235,855	264,695	281,249	－
			執行率	102.1%	99.4%	108.9%	238.4%	113.3%	－
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	2,296,129	2,388,296	2,534,757	2,354,231	2,805,022	2,850,561
			実績額	2,129,765	2,281,879	2,389,955	2,317,316	2,593,976	－
			執行率	92.8%	95.5%	94.3%	98.4%	92.5%	－
	国・都からの補助金等	千円	予算額	0	0	6,602	21,660	37,297	7,500
			実績額	2,764	3,899	4,972	13,995	27,769	－
			執行率	－	－	75.3%	64.6%	74.5%	－
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		4.0%	6.1%	-7.1%	19.1%	1.6%
			実績額		7.1%	4.7%	-3.0%	11.9%	－
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	9.9%	9.9%	8.5%	4.7%	8.9%	9.7%
			実績額	10.9%	10.3%	9.9%	11.4%	10.8%	－



特記事項

※MaaS:Mobility as a Serviceの略。ICT活用による移動をスムーズにつなぐ新たな「移動」の概念又は様々な移動サービスを1つに統合させた新たなモビリティサービス
※モビリティ・マネジメント:「過度な」自動車依存から、公共交通や徒歩などを含めた多様な移動手段を「適度に、かしこく」利用する状態へと少しずつ自発的な変容を促す一連の取組
※AIオンデマンド交通:路線やダイヤを定めず、利用者の予約に応じリアルタイムの配車や経路の設定、乗合等をAIが最適化し運行する交通システム

施策の成果	すぎ丸について、運転士不足から民間路線バスの減便等を行っている運行事業者と協議を重ね、令和6年度に引き続き、人材確保等に要する間接経費を補助し、すぎ丸の安定的な運行を維持した結果、利用者は3路線合わせて120万人を超えました。 杉並区産ＭａａＳ「ちかくも」では、一部のバスの現在地情報や自転車駐車場の満空情報の掲載やシェアサイクルの予約連携などシームレスな移動サービスの充実に取り組むとともに、交通不便地域である堀ノ内・松ノ木地区でのＡＩオンデマンド交通の実証運行を継続しており、誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備に着実に取り組んでいます。また、自転車駐車場については、令和8年度からモデル実施する指定管理者制度の導入に向けて、公募型プロポーザル方式により事業者を選定し、キャッシュレス決済や定期使用の電子申請等のＤＸ化を進めました。 自転車を安全・安心に楽しく利用できる環境づくりを目指す「自転車フレンドリープロジェクト」では、区役所や区立施設、お知らせ掲示板でのポスター掲示に加え、自転車販売店への掲示協力の依頼を行い、自転車の価値や魅力を発信するとともに、譲り合いの意識の醸成によるルール遵守やマナー向上を呼びかける取組の周知に努めました。 自転車に関する交通安全の取組では、警察署、交通安全協会等と連携し、区立学校を中心に、区内各所において実技講習会や出前型講習会など交通安全啓発に取り組み、地域への普及啓発の充実を図りました。令和７年11月に開催されたすぎなみフェスタでは、自転車シミュレーターを活用した講習会を実施し、交通安全ルールの周知を行いました。また、車道を通行する自転車の安全性の向上を図るための自転車ネットワーク路線の整備を行うとともに、クルマのドライバーに対して、自転車にやさしい運転を促す取組として、区独自の路面標示の設置に関する実証実験を東海大学と連携して実施しました。さらに、148灯の既設街路灯をＬＥＤ化した結果、ＬＥＤ化率は99.3%となり、環境面への配慮と安全面の整備を図りました。

課題の分析	すぎ丸は、人件費を含む運行経費が増加したため、補助金額も増加し、財政負担が課題であり、今後は、持続可能な運行ができるよう運賃の改定も含めた運行計画等の見直しが必要です。また、バスの運転士不足により、民間バス路線では減便や廃路線が実施されており、持続可能な地域交通に課題があります。 誰もが気軽に移動できる利便性の高い地域交通環境を形成するため、公共交通や徒歩・自転車による移動のつながりを高めるMaaS等の新しい移動サービスの活用や、更なる自転車活用の推進に努める必要があります。また、区が新たな移動サービスとして、現在、実証運行中のAIオンデマンド交通について、今後の本格導入に向けた検討に必要なデータの充実も課題です。 自転車駐車場は、使用料のキャッシュレス化・定期の電子申請・満空情報の提供などのDX化が課題となっており、令和８年度からモデル実施する指定管理者制度などによる効果を検証するとともに、区直営施設においてもキャッシュレス化などのデジタル化について、計画的に取り組む必要があります。 近年、区内の自転車関与事故件数及び事故割合は、全国平均が２割台にとどまるのに対し、都内と同様に高い水準で推移しており、電動キックボードなど、新たなモビリティの普及により交通状況が変化していることから、これまで以上に交差点等の見通しを確保するなど、歩行者や自転車、誰もが通行しやすい交通安全施設の整備が必要です。 新たな自転車ネットワーク路線については、令和６年度から自転車通行空間の整備を加速化しましたが、対象路線において水道管等の工事と重なる場合があり、円滑かつ効果的な整備計画の立案及び整備実施が課題となっています。整備を所管し、道路実態を把握している杉並土木事務所と連携を密に図りながら、路線整備を進め、誰もが安全に安心して移動できる環境を整備する必要があります。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	公共交通や徒歩・自転車による移動のつながりを高めるMaaS等の新しい移動サービスを活用するとともに、交通安全に関するハード・ソフト面の取組で安全に移動できる環境を整えることで、誰もが気軽に移動できる利便性の高い地域交通環境を形成し、ゼロカーボンシティや交通事故のない社会の実現を目指します。 さらにMaaSを活用し、既存交通やシェアサイクル等の各種サービスをシームレスにつなぎ、移動サービスの充実を図るとともに、イベントや立ち寄りスポットの情報を十分に掲載し、クーポンの発行やスタンプラリーなどの実施により、区民の外出を促し、スマートウェルネスシティ（SWC)の推進にもつなげていきます。 AIオンデマンド交通は、本格運行に向けて、需要に応じた適正な車両台数や運行時間帯、運行方式等を試行・検証していきます。グリーンスローモビリティは回遊性向上を目指すとともに、他地域への展開の可能性を探っていきます。 また、長年杉並区の南北方向の移動を支えてきた南北バスすぎ丸も、昨今の運転士不足や運行経費の増加等の課題を踏まえて、持続可能な運行ができるよう運行計画や運賃等のあり方の検討を行います。 自転車の活用推進においては、関係所管と連携を密に図りながら、自転車通行空間の円滑かつ効果的な整備計画の立案及び整備実施に取り組むとともに、自転車駐車場の使用料のキャッシュレス化・定期の電子申請・満空情報の提供など、利便性向上のための取組を計画的に進めます。併せて、様々な機会を通じて青切符制度を含めた自転車利用のルール・マナーの周知を行うとともに、環境負荷の軽減や健康増進に資する自転車利用を促進するため、講習会やイベント等において、自転車フレンドリープロジェクトによる自転車の価値や魅力のPRや、区職員の自転車利用に関する取組の紹介等を行い、区民や事業者への周知を図ります。 交通安全施設の整備については、新たなモビリティの普及や交通環境の変化を踏まえるとともに、生活道路における安全性の向上に向け、地域の実態に応じた取組を進めていきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　06　】【施策名称　誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	344	新たな地域交通の整備	○	○	43,794	26,526	70,320	推進（拡充）
2	347	自転車活用の推進	○	○	583	15,267	15,850	現状維持
3	348	地域交通の運行	○	○	179,269	19,717	198,986	推進（拡充）
4	379	有料制自転車駐車場の運営	○		911,976	57,509	969,485	推進（拡充）
5	380	放置自転車対策の推進	○		223,255	27,909	251,164	現状維持
6	381	自転車等駐車対策協議会の運営			389	4,450	4,839	現状維持
7	382	自転車駐車場等整備	○		16,994	8,811	25,805	推進（拡充）
8	405	街路灯の維持補修			119,453	14,079	133,532	現状維持
9	406	街路灯の新設・改修	○		96,164	11,382	107,546	推進（拡充）
10	407	民有灯の助成（維持補修）			49,579	6,165	55,744	現状維持
11	408	民有灯の助成（建設補助）	○		87,871	10,483	98,354	推進（拡充）
12	409	交通安全運動の推進	○		11,716	36,946	48,662	縮小（廃止）
13	410	交通安全施設の維持補修			70,131	8,405	78,536	現状維持
14	411	交通安全施設の整備	○		219,802	27,880	247,682	現状維持
15	459	通学路の設置管理			281,751	7,209	288,960	その他
16		以下再掲事業の評価表						
17	400	水防対策						
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					2,312,727	282,738	2,595,465	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	

令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

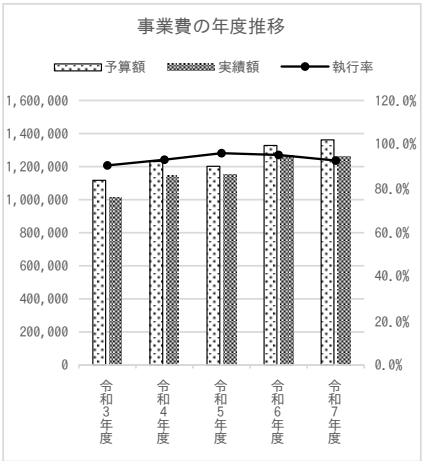
施策	07　暮らしやすい住環境の形成		
分野	02　多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち		
施策担当課	都市整備部管理課	関係課	住宅課、市街地整備課

施策目標

○地域の特性を生かした居心地がよく魅力的なまちなみが形成されることによって、住宅都市としての価値が更に高まっています。
○ユニバーサルデザインのまちづくりが進められ、誰もが気軽に出かけることができる、暮らしやすく快適で魅力あるまちとなっています。
○住宅の確保が困難な方が入居できる住宅が増えているほか、区内老朽危険空家の除却による安心安全の確保や空家の利活用など、良好な住環境の中で、誰もが暮らしやすく住み続けられるまちになっています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	杉並区バリアフリー推進連絡会の開催回数		回	計画	2	2	2	2	
				実績	2	2	2	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	景観施策の普及啓発に係る印刷媒体の発行部数	「杉並景観録」及び「すぎなみ景観ある区マップ」の発行部数	部	計画	67,000	67,000	57,000	57,000	
				実績	67,000	56,000	57,000	-	
				達成率	100.0%	83.6%	100.0%	-	
	マンション管理状況届出書届出件数（累計）	要届出マンションからのマンション管理状況届出書の届出件数（累計）	件	計画	528	528	525	525	
				実績	505	507	510	-	
				達成率	95.6%	96.0%	97.1%	-	
	老朽危険空家の除却工事費助成件数	特定空家等及び特定空家等に準じる老朽危険空家を除却する工事費の助成件数	件	計画	5	5	5	5	
				実績	2	3	3	-	
				達成率	40.0%	60.0%	60.0%	-	
成果指標	杉並区を住みよいまちと思う区民の割合	区民意向調査による	%	計画	97	97	97	97.5	令和12年度
				実績	95	95.4	95.5	-	98%
				達成率	97.9%	98.4%	98.5%	-	
	分類　区民満足度指標								
	まちなみに美しさや落ち着きがあると思う区民の割合	区民意向調査による	%	計画	83	84	85	86	令和12年度
				実績	78.4	82.6	84.9	-	90%
				達成率	94.5%	98.3%	99.9%	-	
	分類　区民満足度指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	1,117,054	1,230,963	1,201,814	1,327,886	1,361,693	1,362,153
			実績額	1,011,375	1,146,360	1,154,785	1,265,198	1,262,946	-
			執行率	90.5%	93.1%	96.1%	95.3%	92.7%	-
	人件費	千円	予算額	178,749	177,806	176,214	207,921	240,965	250,200
			実績額	184,808	181,085	190,818	234,446	255,173	-
			執行率	103.4%	101.8%	108.3%	112.8%	105.9%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	1,295,803	1,408,769	1,378,028	1,535,807	1,602,658	1,612,353
			実績額	1,196,183	1,327,445	1,345,603	1,499,644	1,518,119	-
			執行率	92.3%	94.2%	97.6%	97.6%	94.7%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	124,280	144,074	133,083	223,296	251,208	164,230
			実績額	120,172	136,552	122,337	226,915	234,291	-
			執行率	96.7%	94.8%	91.9%	101.6%	93.3%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		8.7%	-2.2%	11.4%	4.4%	0.6%
			実績額		11.0%	1.4%	11.4%	1.2%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	13.8%	12.6%	12.8%	13.5%	15.0%	15.5%
			実績額	15.4%	13.6%	14.2%	15.6%	16.8%	-



特記事項

施策の成果	ユニバーサルデザインのまちづくり推進については、杉並区バリアフリー推進連絡会の開催により「杉並区バリアフリー基本構想」に定める特定事業計画の進捗管理を行うとともに、各事業者間でバリアフリー推進に向けた取組を共有しました。また、協働提案事業として障害当事者と共に高井戸地域区民センターの点検を実施し、関係者との対話を通じて今後の施設整備における課題解決に取り組みました。このほか、誰もが安全かつ安心して鉄道駅を利用できるよう、京王井の頭線富士見ヶ丘駅のホームドアの整備費の一部について、鉄道事業者に助成を行いました。 良好な景観づくりの推進については、景観法令に基づく建築行為等の届出の審査やまちづくり景観審議会景観専門部会への意見聴取により、良好な景観づくりに係る規制・誘導を図りました。また、「杉並区景観計画」については、冊子を500部及び概要をまとめたリーフレットを1,000部発行したほか、「すぎなみ景観ある区マップ」を50,000部発行し、区の取組を周知するとともに、区民等の積極的な参加を促しました。そのほか、荻外荘展示棟の落成式の開催、荻窪三庭園のＰＲ動画の制作、オリジナルグッズの発売及び寄附募集チラシを2,000部発行するなど、荻窪三庭園の適切な保存・活用に係る取組を進めました。 住宅施策については、居住支援協議会と連携してアパートあっせん事業等を実施するとともに、セーフティネット専用住宅の確保や家賃低廉化補助に取り組み、住宅確保要配慮者の居住の安定化を図りました。加えて、前年度に区営住宅の優遇抽選に落選したひとり親世帯・多子世帯を対象とした家賃助成や、住環境の改善・家賃軽減を目的とした転居費用助成等を開始し支援を拡充しました。また、空家等対策については、空家等対策協議会等と連携し、特定空家等に対して指導・勧告等を行ったほか、老朽危険空家の除却工事費助成を3件実施し、特定空家等を含む空家の除却を進めました。
課題の分析	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進については、バリアフリーを必要とする視覚障害者、聴覚障害者、歩行困難者など多様な当事者の参画を促進し、区が主体となって当事者と施設管理者との対話の場を設け、多角的な視点で区施設のバリアフリーの現況と課題の検証を進めていく必要があります。また、検証で得られた意見・知見は、検証した区施設の改善への活用にとどめず、区施設の新築や建替、大規模改修における計画・設計段階での反映が求められているため、建築・営繕部門との組織横断的な情報共有体制の構築が重要です。 良好な景観づくりの推進については、成果指標「まちなみに美しさや落ち着きがあると思う区民の割合」が目標値を下回っていることを踏まえ、良好な景観づくりに係るより効果的な普及啓発を図るほか、グリーンインフラ等を含むみどりに関する取組やウォーカブルなまちづくり等との連携など、分野横断的な観点で景観づくりや情報発信を推進していくことが課題です。また、完成した荻外荘を未来に残し続けるため、引き続き寄附を募集していることを分かりやすく周知することが課題です。 住宅施策については、公営住宅のみでは需要を満たせていないため、民間住宅ストックを活用した住宅確保要配慮者への支援が必要です。特に高齢者は、孤独死や残置物処理等に対する懸念から物件所有者等に入居を敬遠されやすいことが課題となっていることから、物件所有者等の不安軽減につながる支援や仕組みづくりが重要です。そのため、居住支援サービスの充実や住宅セーフティネット制度のより一層の周知を図り、安定した住まいの確保に向けて取り組む必要があります。また、空家等対策については、特定空家等の除却や利活用に向けた取組を進めるとともに、新たな空家の発生抑制に向けて相談体制の充実を図るなど、総合的に空家対策に取り組むことが重要です。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	ユニバーサルデザインのまちづくり推進については、バリアフリー基本構想に基づく特定事業の進捗状況や近年のバリアフリー施策の動向を踏まえ、事業内容の見直しに取り組み、継続的かつ発展的なバリアフリーの推進を図ります。また、障害当事者等の参画による施設検証については、参加当事者や検証手法について検討を深めるとともに、施設整備部門及び施設管理部門との連携を強化し、より実効性の高い取組へ発展させます。 良好な景観づくりの推進については、SNS等の活用により「杉並景観録」の効果的な普及啓発を進めるとともに、スマートウェルネスやウォーカブルなまちづくりの視点を取り入れながら、分野横断的な景観形成を進めます。また、景観法令に基づく各種届出や事前協議等のオンライン化により、事業者等の利便性の向上を図るとともに、職員の業務の効率化を推進します。あわせて、「荻窪三庭園」や荻外荘創建100年を契機とした記念事業等を通じて来園促進を図るとともに、荻外荘の理解促進、愛着の醸成及び寄附の拡大に取り組みます。 住宅施策については、居住支援協議会と連携し、住宅確保要配慮者の賃貸住宅への入居・居住継続支援や高齢者見守り、残置物処理等を組み合わせた居住支援サービスの構築のほか、セーフティネット専用住宅の登録促進及び家賃助成に取り組むことで、住宅確保要配慮者への包括的な居住支援体制を強化します。また、区営住宅については、将来の建替えを見据え、屋上断熱や遮熱外壁改修等による長寿命化と、二重窓の効果検証を踏まえた環境性能向上を検討します。さらに、空家等対策として「すぎなみプラス」によるマッチング支援サイトの周知や相談窓口と連携したイベント開催等により利活用の普及啓発を行うとともに、相続・借地等の課題解決を支援する新たな取組や除却助成の在り方について検討を進めます。 これらの取組の充実を図ることにより、誰もが暮らしやすく安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　07　】【施策名称　暮らしやすい住環境の形成　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	345	ユニバーサルデザインのまちづくり推進	○	○	160,181	6,052	166,233	推進（拡充）
2	351	景観まちづくり	○		8,014	54,557	62,571	推進（拡充）
3	358	区営住宅の住環境整備	○		151,154	4,233	155,387	現状維持
4	359	区営住宅の提供	○		257,722	37,478	295,200	現状維持
5	360	高齢者住宅の提供	○		543,677	43,517	587,194	現状維持
6	361	都営シルバーピアの運営			39,469	1,780	41,249	現状維持
7	362	高齢者等アパートの提供			13,143	10,702	23,845	現状維持
8	363	マンションの適正な管理			856	24,039	24,895	現状維持
9	364	住宅修築資金の融資あっせん			48	2,670	2,718	現状維持
10	366	住宅施策の推進	○	○	19,892	38,904	58,796	推進（拡充）
11	375	空家等対策の推進	○		8,451	30,351	38,802	現状維持
12		以下再掲事業の評価表						
13	425	安全美化条例に基づく生活環境の改善						
14	429	公害等防止						
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					1,202,607	254,283	1,456,890	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	

令和8年度　杉並区施策評価シートⅠ

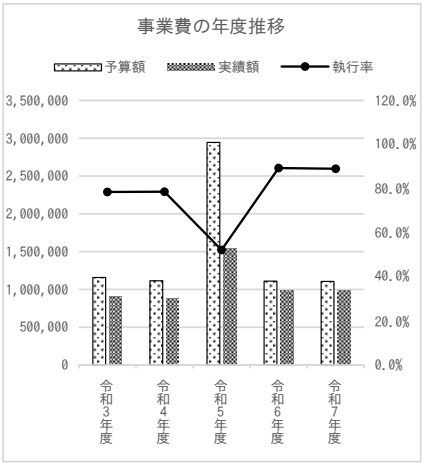
施策	08　にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興		
分野	02　多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち		
施策担当課	産業振興センター	関係課	

施策目標

○社会情勢の変化に応じた中小企業・創業支援や商店街支援等の取組により、地域経済が活性化されています。
○一人ひとりの状況に即した就労支援が行われ、誰もが多様な働き方を実現しています。
○「杉並」の魅力や価値が更に高まり、その魅力や価値が区内外に発信され、にぎわいの創出につながっています。
○農業者への支援のほか、区民の農業への理解促進や地産地消の推進、農福連携事業などの取組により、都市農地が持つ多面的な機能が発揮され、農地が保全されています。

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	融資あっせん件数		件	計画	1,000	1,000	1,000	1,000	
				実績	710	731	582	-	
				達成率	71.0%	73.1%	58.2%	-	
	就労準備相談・心としごとの相談件数		件	計画	2,150	2,150	2,150	2,150	
				実績	1,714	1,575	1,797	-	
				達成率	79.7%	73.3%	83.6%	-	
	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（イベント事業）件数		件	計画	110	100	100	100	
				実績	75	86	90	-	
				達成率	68.2%	86.0%	90.0%	-	
	農業ボランティア登録者数	農業ボランティアバンクの登録者数	人	計画	40	60	70	80	
				実績	48	62	78	-	
				達成率	120.0%	103.3%	111.4%	-	
成果指標	創業支援による創業者数	区が実施する特定創業支援等事業を利用し、区内で創業した事業者数	件	計画	130	180	180	180	令和12年度
				実績	219	204	228	-	180件
				達成率	168.5%	113.3%	126.7%	-	
	分類　行政サービス成果指標								
	就労支援センターの利用による就職決定者数	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数	人	計画	850	850	850	850	令和12年度
				実績	545	579	601	-	850人以上
				達成率	64.1%	68.1%	70.7%	-	
	分類　行政サービス成果指標								
	商店街のイベントに参加したことのある区民の割合	区民意向調査による	%	計画	44	45	46	47	令和12年度
				実績	35	39.3	41.9	-	51%
				達成率	79.5%	87.3%	91.1%	-	
	分類　利用者満足度指標								
	アニメーションミュージアム来館者数		人	計画	45,000	50,000	55,000	60,000	令和12年度
				実績	57,291	49,342	71,514	-	80,000人
				達成率	127.3%	98.7%	130.0%	-	
	分類　行政サービス成果指標								
	区内農業産出額（農地面積1ha当たり）	区内農業産出額÷区内農地面積	百万円	計画		7.5	7.6	7.6	令和12年度
				実績	7.7	7.7	7.5	-	7.7百万円
				達成率	-	102.7%	98.7%	-	
	分類　社会成果（課題）指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	1,158,031	1,114,359	2,945,222	1,109,961	1,106,105	1,696,610
			実績額	908,913	876,059	1,537,117	991,688	984,725	-
			執行率	78.5%	78.6%	52.2%	89.3%	89.0%	-
	人件費	千円	予算額	234,232	220,592	228,094	220,143	242,488	277,045
			実績額	235,808	240,204	249,358	249,936	266,980	-
			執行率	100.7%	108.9%	109.3%	113.5%	110.1%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	1,392,263	1,334,951	3,173,316	1,330,104	1,348,593	1,973,655
			実績額	1,144,721	1,116,263	1,786,475	1,241,624	1,251,705	-
			執行率	82.2%	83.6%	56.3%	93.3%	92.8%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	109,129	153,207	183,467	185,089	182,511	408,782
			実績額	228,000	233,228	667,096	154,998	8,721	-
			執行率	208.9%	152.2%	363.6%	83.7%	4.8%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		-4.1%	137.7%	-58.1%	1.4%	46.3%
			実績額		-2.5%	60.0%	-30.5%	0.8%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	16.8%	16.5%	7.2%	16.6%	18.0%	14.0%
			実績額	20.6%	21.5%	14.0%	20.1%	21.3%	-



特記事項

中小企業支援事業では、利子補給にかかる予算執行額が想定より少なかったため、予算の執行残が生じました。
商店街支援事業では、商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（活性化事業）及び商店街トライアル事業の一部事業を見送ったこと等により、執行残が生じました。
農業の支援・育成事業では、営農活動支援補助金の補助金額の減少及び農業体験農園の新規開園の実績がなかったため、執行残が生じました。

施策の成果	中小企業支援では、新たに小規模事業者経営改善資金の利子補助を実施し、融資にかかる返済の負担軽減を図りました。また、創業スタートアップ助成や創業支援資金融資に伴う信用保証料補助を行うなど、引き続き、創業支援を行いました。就労支援センターでは、新規登録者数、就労準備相談・心としごとの相談件数、就職決定数のいずれも令和６年度を上回り、多くの利用者の就労を支援しました。その他、新たにInstagramの運用を開始し、情報周知の強化に取り組みました。 商店街支援では、にぎわい創出に向けたイベント事業の支援や防犯カメラ設置補助等を通じて、安心・安全な商店街環境の整備を図りました。加えて、令和7年度から新たに、商店街単位でのキャッシュレスポイント還元事業（10件）及びSNSを活用したショート動画事業（2件）の支援を行うなど、キャッシュレス化や来街者の増加に向けた取組を推進しました。また、杉並アニメーションミュージアムでは、人気コンテンツを活用した企画展等の実施や、開館20周年記念事業、来館者数100万人突破イベントなど、アニメを活用した賑わいの創出に取り組んだ結果、来館者数が71,514人（前年度比22,172人増）となりました。 農業の支援では、企業的農業経営集団活動支援助成を5件行ったほか、農業者の意見を踏まえ、営農活動支援補助制度の補助対象事業を拡充し、28件の助成を行うなど、農業者の支援に取り組みました。また、地産地消を推進するため、年2回の「地元野菜デー」を全区立学校において実施するとともに、令和6年度から試行実施している、学校給食で使用する野菜等の調整を図り、配送・納入する取組について、モデル校6校に拡大して実施しました。農福連携農園では、障害者施設や子ども食堂への食材提供を27団体、延べ302回行うとともに、不登校の区内児童や高齢者施設利用者の活動の場として活用しました。
課題の分析	中小企業資金融資あっせん事業の資金の内訳を見ると、「普通資金融資」や「小規模企業小口資金融資」のあっせん件数が増加傾向にあることから、今後も区内中小事業者の資金需要を含む実態把握に努め、支援を強化していく必要があります。そのほか、創業５年以内で約半数が廃業するというデータもあることから、今後は、創業後のフォローアップを一層強化し、定着支援を行う必要があります。 一部の商店街では、役員の高齢化や後継者不足などにより、活動の継続や新たな取組の実施が難しくなっていることから、実態に応じたきめ細やかな支援や助言を継続して行っていく必要があります。併せて、商店街施設の老朽化への対応や維持管理負担の軽減を図りながら、安全・安心で環境に配慮した商店街づくりを推進していきます。 杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、企画展の内容によって増減する傾向が見られるなど、安定的な集客について課題が残っています。今後は、来館者増に向けた取組に加え、区内アニメ制作会社との連携会議を通じた継続的な取組を進めていくなどにより、アニメを活用したにぎわいの創出を図り、杉並の更なる魅力や価値を高めていきます。 農家戸数及び農地面積は、農家の高齢化や後継者不足などにより年々減少を続けています。引き続き、営農活動支援や都市農地貸借等制度の普及啓発、農業ボランティアのさらなる育成とマッチングを進めていきます。また、令和７年度にモデル校６校で試行実施した学校給食への杉並産農産物利用拡大に向けた取組では、配送や作物の収量の課題等を整理し、令和８年度以降全校実施できるよう取り組んでいきます。

改善・見直しの方向　中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	区内中小企業は、エネルギー価格や物価、人件費の上昇に加えて深刻な労働力不足、金利上昇など、事業継続に影響を及ぼすような課題に直面しています。そのため中小企業の持続可能な経営に向けて、デジタル化、人材確保・賃上げ等に向けた取り組みを総合的に支援するとともに、創業後の成長段階に応じたフォローアップ支援など、区内事業者に寄り添った支援の充実を図ります。就労支援センターについては、就職決定数の増加を目指し、セミナーの実施回数の充実や就労につながる可能性のある訓練先の開拓を進めていきます。また、求人情報サイトについて、利用者の操作性向上や多様な働き方に合わせた求人検索ができる様、機能改善を行います。 商店街は、区民の日常の買い物の場であるとともに、地域コミュニティの形成と維持に重要な役割を果たしていることから、商店街の実情に合わせたきめ細やかな支援や商店街の地域力向上に資する取組への支援を行うことにより、地域を支える商店街づくりの推進を目指します。 観光分野では、「中央線あるあるプロジェクト」などの取組を見直し、区内全域において多様な主体が地域の魅力発掘・発信に参画する体制を構築します。併せて、デジタル技術や多様な媒体を活用した効果的な情報発信を推進します。また、区内アニメ制作会社との事業連携によるイベントの開催等により、「アニメのまち杉並」の魅力発信に取り組むとともに、区公式アニメキャラクター「なみすけ」の、新たなグッズ展開、制作数の拡大等を通じて、さらなる認知度向上を図るなど、「アニメ」を活用した来訪者の増加や地域回遊の促進、区内消費の拡大を図ります。 農業分野では、農業経営に意欲的な農業者に対する活動助成や、農業者のニーズに応じた農業ボランティア制度の充実などにより、都市農業を支援するとともに、後継者のいない農地等の活用に向けた方針を定め、農地の維持・保全を図ります。また、区民が農にふれあう場の提供や地産地消の取組を通じて、都市農業への区民の理解を深めていきます。

令和8年度　杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業（評価対象外を除く））

【施策　08　】【施策名称　にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興　】　※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和7年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	094	中小企業支援	○	○	256,843	56,092	312,935	推進（拡充）
2	095	商店街支援	○	○	379,579	59,641	439,220	推進（拡充）
3	096	アニメの振興と活用	○	○	117,703	39,275	156,978	推進（拡充）
4	097	観光促進	○		60,175	39,226	99,401	推進（拡充）
5	103	農業の支援・育成	○	○	24,017	27,245	51,262	現状維持
6	104	都市農地確保	○	○	52,946	27,245	80,191	現状維持
7	106	就労支援	○	○	93,462	18,256	111,718	推進（拡充）
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					984,725	266,980	1,251,705	

施策を構成する事務事業に関する特記事項	